

多面的機能の維持・発揮活動 【農村環境部門】

つむらちよう ちく のうち ・ みず ・ かんきょう ほぜんかい
津村町地区農地・水・環境保全会（伊勢市）

地形を生かした農地景観

活動の状況 （認定農用地面積A=29.6ha）

一級河川「宮川」の河岸段丘に広がる遊休農地を利用して、毎年ルピナスやハナビシソウなどの植栽を行い景観を形成しています。この活動を通して地域住民の絆を深めつつ田畑の「美しさ」を創出し、道行く人々へも「癒し」を提供しています。地区内は背後に山地を抱え、起伏に富んだ田んぼが広がっています。このため農地法面は急斜面が多く、草刈り作業も大変です。そこで、芝桜をカバープランツとして植栽し、作業軽減と景観形成の両立も図っています。今年も花が満開になる頃には、地域の子もたちと共に花畑観賞会を開催し大盛況となりました。また近年話題になっている「かかし」を鳥獣害対策に取り入れて花畑に設置することで、かかしも花畑や見物客を穏やかに見守ってくれています。

